

MITSUBISHI

三菱 深夜電力用 電気温水器 ダイヤホット 取扱説明書 深夜電力(8時間)用 通電制御型

このたびは、三菱電気温水器(ダイヤホット)をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

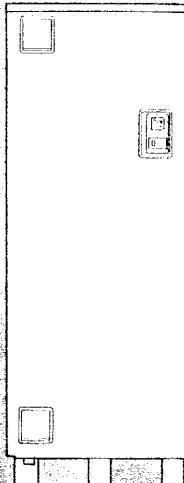
マイコン
ダイヤホット

8H
通電制御型
8時間遅電

認定品

配管内蔵防雨タイプ

形名
SRG-3764-BL
SRG-4664-BL



この電気温水器は、申請によって通電制御型として料金割引きが適用されます。
不明の場合は、必ず据付け工事店（販売店）または最寄りの電力会社にご相談ください。

もくじ

安全のために	ページ
必ずお守りください	1～2
各部のなまえとはらき	3～4
・本体	
・本体周辺部	
ご使用方法	5～8
・使用前の準備と給湯手順	
・お湯の上手な使い方	
・操作部のなまえ	
・湯温設定	
凍結防止について	9～10
・必ずお読みください	
・凍結防止ヒーターによる方法	
・少量の水を流し続ける方法	
お手入れと定期点検のお願い	11～12
・配管の点検	
・タンクのお手入れ	
・逃し弁の点検	
・漏電遮断器の点検	
・定期点検のお願い（有料）	
修理を依頼する前に	13～14
・こんなときは故障ではありません	
・故障かなと思ったら	
長期間使用しないときは	15
・1ヵ月以上のとき（タンク内の水抜きします。）	
・1ヵ月以内のとき（電源を切ります。）	
仕様	16
別売リモコンについて	17
保証とアフターサービス	18

- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買上げ日・据付け工事店名(販売店名)」などの記入を確かめて、据付け工事店(販売店)からお受け取りください。
- 添付別紙の「三菱電機お客さま相談窓口一覧表」は、大切に保存してください。
- お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）

試運転は据付け工事店の立会いのもとで行なってください。安全を確保するための正しい使い方にについて、据付け工事店から説明を受けてください。

安全のために必ず お守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

・本文中や、本体の表示に使われる表示の意味は次の通りです。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに 死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

・本文中や、本体の表示に使われる図記号の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行なってください。
	必ずアース工事を行なってください。
	感電の恐れあり
	やけどの恐れあり
	発火の恐れあり

⚠ 警告

やけどに注意

- 給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
- 排水時はお湯に手を触れないでください。
- 逃し弁点検時は内部の配管に手を触れないでください。



給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯がでます。
特に朝の使い始めは空気の混ざった熱湯が出る
ことがあります。

近くにガス類や引火物を置かない



置くと、発火・火災になることがあります。

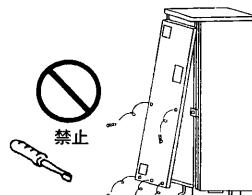
改造をしない

(修理技術者以外の人は、分解・改造・修理をしない)



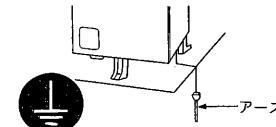
不備があると、発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

前面力バーを開けない



開けると、感電することがあります。

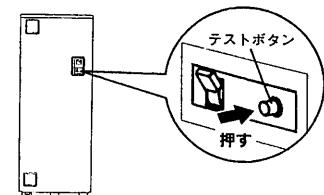
アース工事を確認する



工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付け工事店か三菱電機サービスセンターまたは三菱電機お客様相談窓口へお問合せください。

漏電遮断器の動作を確認する



故障のまま使用すると、感電することがあります。

⚠ 注意

飲用はしない



長期間の使用により水質が変化した場合、下痢・腹痛など、体をこわすことがあります。

タンクの熱湯を直接排水しない



やけどをすることがあります。
また、排水管などを破損することがあります。

通電はタンクを満水にしてから行う



「空焼き」の場合、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

脚がアンカーボルトで固定されているか確認する

2階以上に据付けた場合は、上部振れ止め金具が壁に固定されているか確認する



固定されていないと地震のとき本体が倒れてしまうことがあります。

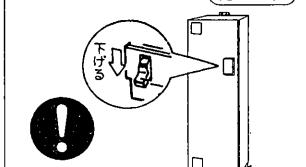
逃し弁の点検をする

(11ページ)



点検しないとタンクが破損したり、逃し弁から水漏れたりすることがあります。

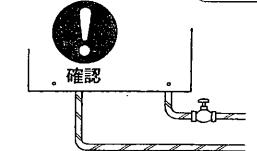
1ヵ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする



排水しないと水質が変化することがあります。

凍結防止対策の確認をする

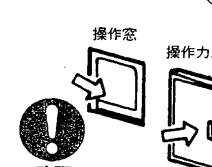
(9ページ)



凍結するとタンクや配管が破裂して水漏れでやけどをすることがあります。

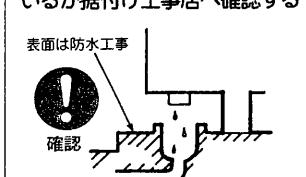
操作力バー・操作窓は閉じる

(3ページ)



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

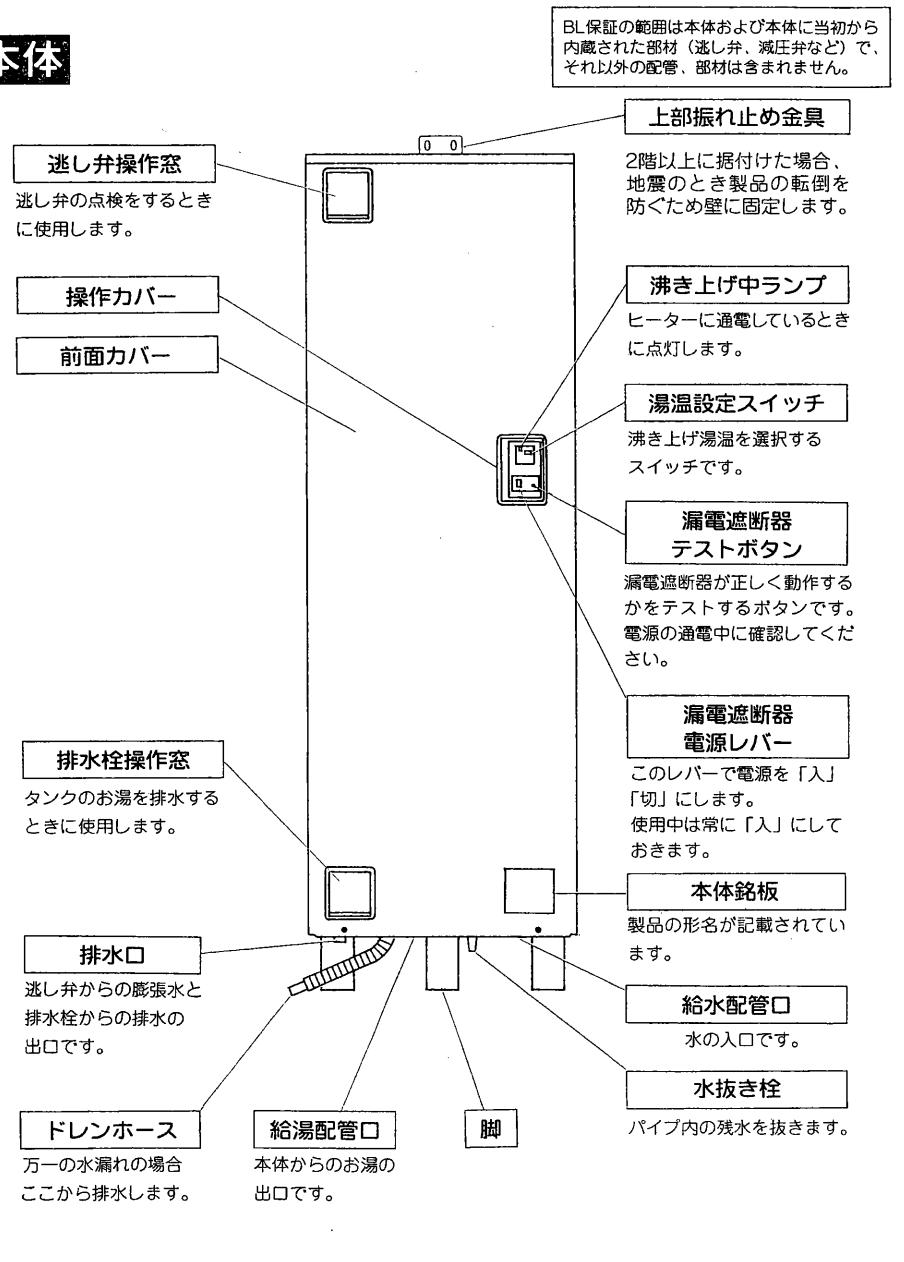
床面が防水・排水処理されているか据付け工事店へ確認する



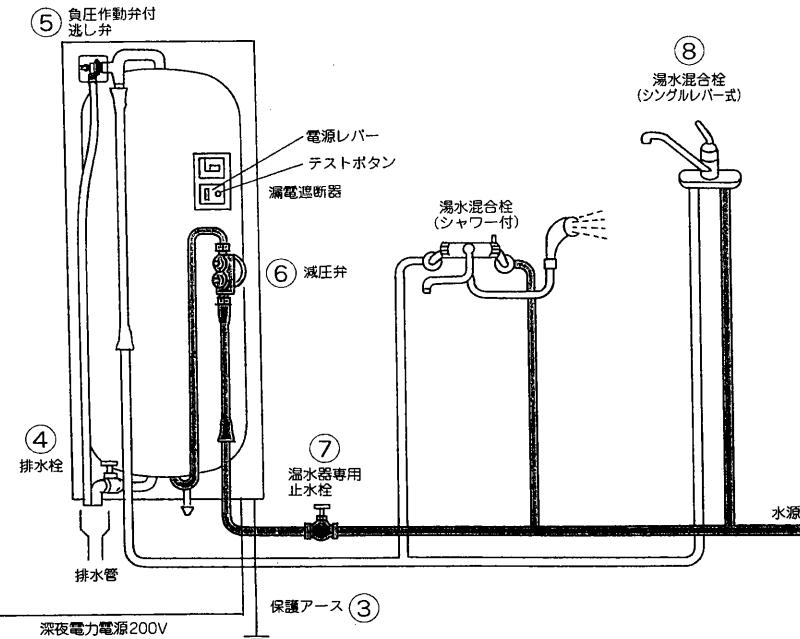
表面は防水工事
処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。

各部のなまえ とはたらぎ

本体



本体周辺部



① 専用タイムスイッチ
深夜電力電源(200V)の供給を自動的に「入」、「切」します。

② 200V電源ブレーカー
200V電源の「入」、「切」をします。

③ 保護アース
万一の感電を防ぎます。

④ 排水管
タンク内の水を排水するときに操作します。

⑤ 負圧作動弁付逃し弁
沸き上げ時の膨張水を排出しタンク内を一定圧力にします。また、万ータンクが負圧になると空気を吸い込みタンクを保護します。

⑥ 減圧弁
タンクへの給水圧力を一定にします。

⑦ 温水器専用止水栓
タンクへの「給水」、「止水」に使用します。

⑧ 湯水混合栓
お湯を取り出します。

ご 使用 方 法

使用前の準備と給湯手順

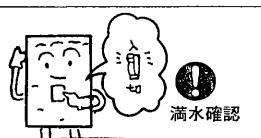
使いはじめや水を抜いたときは次の手順で操作してください。(①～⑦は右図と対応しています。)

給水

- ①湯水混合栓やシャワーの湯温調節を「高」側にして給湯レバーを開く。
 - ②温水器専用止水栓を開く。
 - ③湯水混合栓やシャワーから水が出てきたら給湯レバーを閉じる。
- 空の状態から満水までは約30分～40分かかりますが、タンク容量や配管によって多少変わります。

△注意

通電はタンクを満水にしてから行ってください。「空焼き」の場合ヒーターが過熱して故障の原因になります。



運転

- ④深夜電力の200V電源ブレーカーを「入」にする。
 - ⑤漏電遮断器の電源レバーを「入」にする。
 - ⑥湯温設定をする。(8ページ)
- お知らせ**
- 深夜電力は専用タイムスイッチによって毎晩自動的に供給されます。
 - 給湯は翌朝から可能です。

給湯

- ⑦湯温調節を「低」側にしてから給湯レバーを開きちょうどよい湯温にする。
- お知らせ**
- 給湯すると温水器に自動的に給水されます。

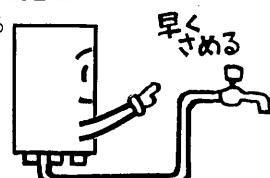
お湯の上手な使い方 1日に使用できるお湯の量

特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をしますと湯量不足になりますから上手に使いましょう。

⑧流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使いましょう。

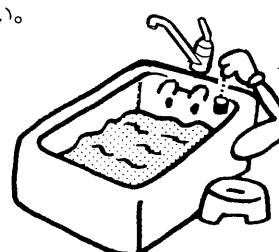


⑨配管内のお湯は早くさめます。
シャワーや湯水混合栓の開閉回数をできるだけ少なくすると効果的です。



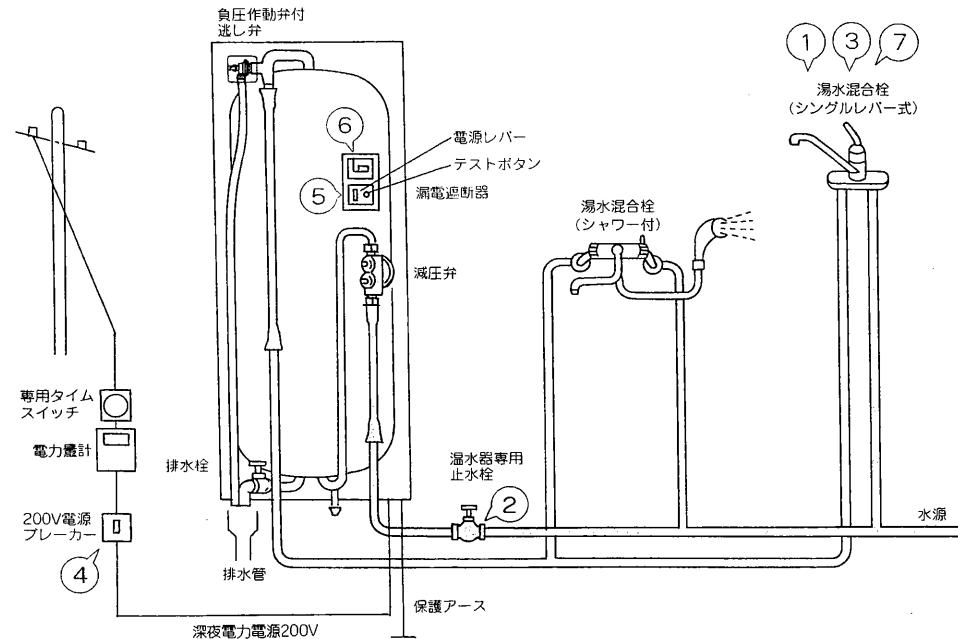
は限られています。お湯は大切にお使いください。

●お風呂の湯温を高くしたいときは、お湯を少し減らしてから足し湯を行ってください。



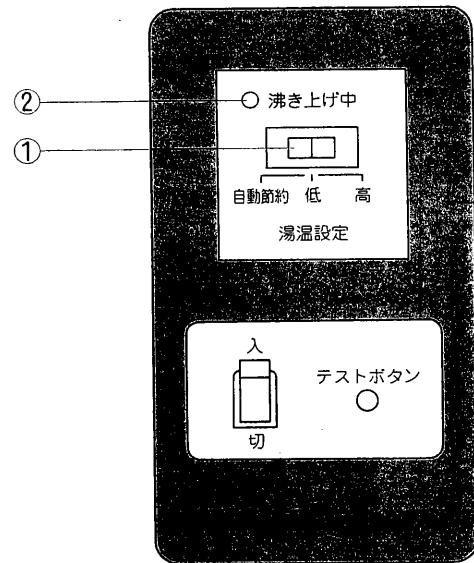
●入浴は、できるだけ深夜電力時間帯(沸き上げ中ランプの点灯中)を避けて続けて入浴してください。

点灯中にお湯を使うと翌日の湯温が低くなり、湯量不足になります。23:00



ご 使用 方法

操作部のなまえ



①湯温設定スイッチ(スライド式)

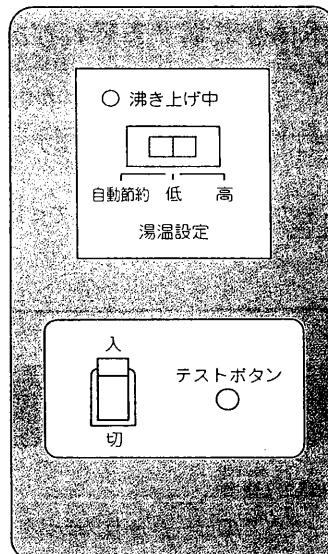
沸き上げ湯温の設定に使用します。

自動節約	約70℃～約90℃
低	約55℃
高	約90℃

②沸き上げ中ランプ

点灯	沸き上げ中です。
消灯	ヒーターに通電していません。
点滅	故障です。据付け工事店へご連絡ください。

湯温設定



お知らせ

- 湯温設定スイッチは左右に軽くスライドさせてください。
- 深夜電力時間帯に停電が発生し、復帰した場合はただちにヒーターに通電します。
- 給水水温10℃以下残湯量20L未満の場合は90℃まで沸き上がりません。
- 沸き上げ湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しづつ低下します。また、湯温は2～3℃ばらつくことがあります。
- 蛇口の湯温は、配管部材からの放熱で沸き上げ湯温より低めになります。

自動節約運転

- 毎日の使用湯量がほぼ一定しているときにご使用ください。
- 過去の使用湯量と給水水温から翌日の使用湯量を予測し、約70℃～約90℃の範囲でマダなく効率的に沸き上げます。

「自動節約」側にする



お知らせ

- お湯の使用量が変動すると湯量不足が発生することがあります。
- 自動節約運転を解除するときは「低」、「高」のいずれかの位置にします。(マニュアル運転になります。)

マニュアル運転

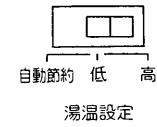
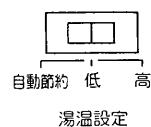
- ご家庭の使用湯量、家族構成の変動、来客のご予定などに合わせてご使用下さい。
- 湯温設定スイッチにより約55℃と90℃の沸き上げが選択できます。

約55℃にするとき

約90℃にするとき

「低」の位置にする

「高」の位置にする



凍結防止について

必ずお読みください

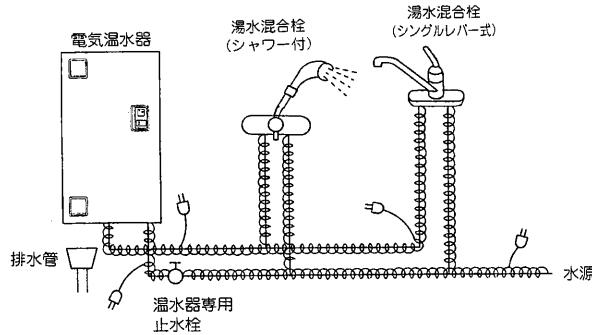
冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0°C以下になる場合には配管が凍結し、配管や本体が破損する恐れがありますので、凍結防止対策が必要です。

凍結防止対策としては「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。

どの方法が施工されたのか据付け工事店に確認し、その方法によって実施してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- 凍結防止ヒーターが図のように巻かれているかを確認します。
- 凍結防止ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込みます。
- 凍結しない季節は安全のためコンセントからプラグを抜いておきます。



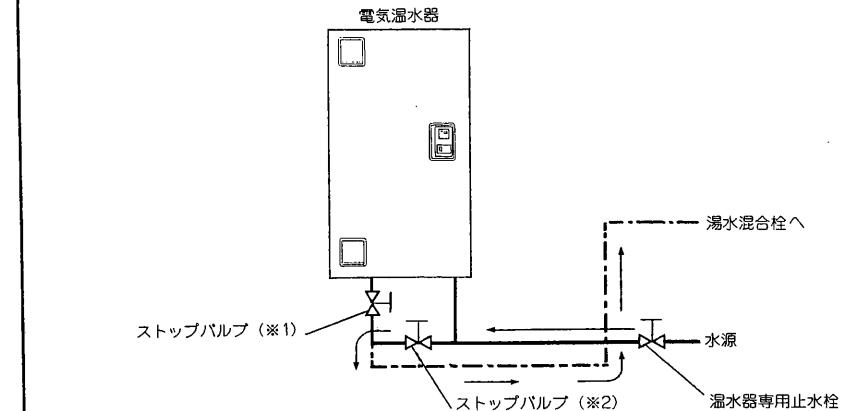
少量の水を流し続ける方法

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。

- ①ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開きます。
- ②各給湯栓、湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態に水を流します。

〈翌朝使用するとき〉

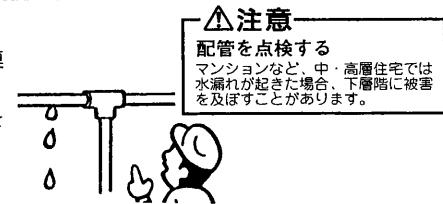
- ①各給湯栓、湯水混合栓を閉じます。
- ②ストップバルブ(※2)を閉じ、ストップバルブ(※1)を開きます。



お手入れと定期点検のお願い

配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付け工事店にご連絡ください。特に冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行ないます。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。



タンクのお手入れ(1カ月に1度)

①排水栓を約1~2分間開けます。

タンクの下部にたまつた汚れを排水します。

②汚れがなくなったら排水栓を閉じます。

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

△警告

やけどに注意する
排水時は熱湯が出ます。

逃し弁の点検(1カ月に1度)

1. 逃し弁の動作点検

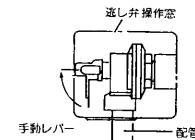
- ①逃し弁のレバーを上げ、水(お湯)が排水口から出ることを確認します。
- ②お湯が出れば正常です。
お湯が出ないときは、温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。
また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付け工事店へご連絡ください。

2. 逃し弁の水漏れ点検

- ①「沸き上げ中ランプ」が消灯中に排水口からお湯がでていないかを確認します。
- ②お湯が出ているときは、手動レバーを数回上下に動かしてください。それでもお湯が止まらないときは温水器専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。

△警告
点検時は、配管に手を触れない
(やけどの原因)

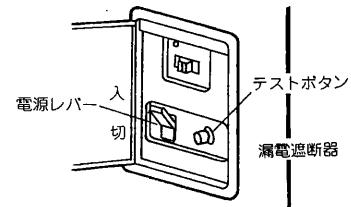
△注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、
やけどの原因になります。



漏電遮断器の点検(1カ月に1度)

漏電遮断器の点検は深夜電力時間帯に行なってください。

- ①テストボタンを押します。
- ②「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。電源レバーを「入」にもどします。
テストボタンを押しても電源レバーが「切」にならないときは、200V電源ブレーカーを「切」にして据付け工事店へご連絡ください。



△警告

漏電遮断器の動作の確認をする。
(感電の原因)



定期点検のお願い(有料)

電気温水器を少しでも長く使用するために、3~4年に1度定期点検(有料)を行なってください。定期点検については、据付け工事店(販売店)または三菱電機サービスセンターへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な内容

項目	内 容
据付け状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、逃し弁、減圧弁の点検
清掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)

消耗部品の交換

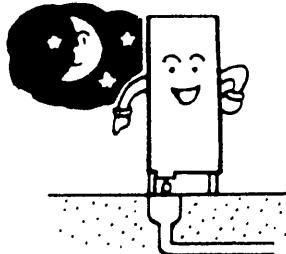
逃し弁、減圧弁は消耗部品です。(交換のめやすは3~4年です。)劣化している場合は、早めに据付け工事店にご連絡ください。

修理を依頼する前に

こんなときは故障ではありません。

逃し弁からお湯が出ている

逃し弁が正常に作動していると、沸き上げ中(沸き上げ中ランプが点灯中)に水からお湯になるときの膨張分が逃し弁から出ます。



設定湯温まで沸き上がらない

以下のことを行なうと、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

- ① 沸き上げ中ランプが点灯中にお湯を使用した場合
- ② 深夜電力時間帯に沸き上げ湯温の設定を上げた場合
- ③ 給水水温が低く、残湯量が少ない場合
[給水水温10°C以下、残湯量20L未満]

お湯から油や臭いが出る

初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

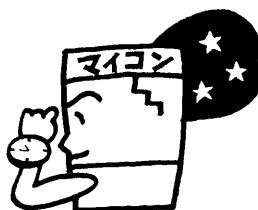
お湯が白く濁ってみえる

これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えてしまい、全く無害なものです。

ヒーターにすぐ通電されない

タンク内の沸き上げたお湯は、時間の経過とともに徐々に温度が低くなります。この製品は、温度の低下を少なくするために、給水水温が高い場合や湯温設定が「低」のときは、深夜電力時間帯になってもすぐに通電しません。深夜電力時間帯が終了する時間に合わせて沸き上げを完了させます。

(ピークシフト機能)



故障かなと思ったら

“故障かな？”と思ったときは、まず次の点を調べてください。

こんなとき	調べていただきたいこと	していただきたいこと
お湯が出ない 出が悪い	• 断水していませんか。 • 温水器専用止水栓は開いていますか。 • 配管部分が凍結していませんか。	断水が終わるまで待ってください。 閉じていれば開いてください。 とけるまで待ってください。
	• 200V電源ブレーカーが「切」になっていませんか。 • 漏電遮断器の電源レバーが「切」になっていませんか。 • 湯温設定は適切ですか。	「入」にしてください。 「高」に切換えてください。(8ページ)
	• 逃し弁の排水口から昼間、お湯か水が出ていませんか。	逃し弁を点検してください。(11ページ) 逃し弁を点検してもなおならない場合は減圧弁の故障も考えられますので、据付け工事店にご連絡ください。
お湯が 沸かない 足りない	• 逃し弁の排水口から昼間、お湯か水が出ていませんか。	翌日までお待ちください。
	• 沸き上げ中ランプが点灯中にお湯をたくさん使用しましたか。 • いつもにくらべてお湯をたくさん使用しませんでしたか。 • 給水水温が10°C以下ではないですか。	

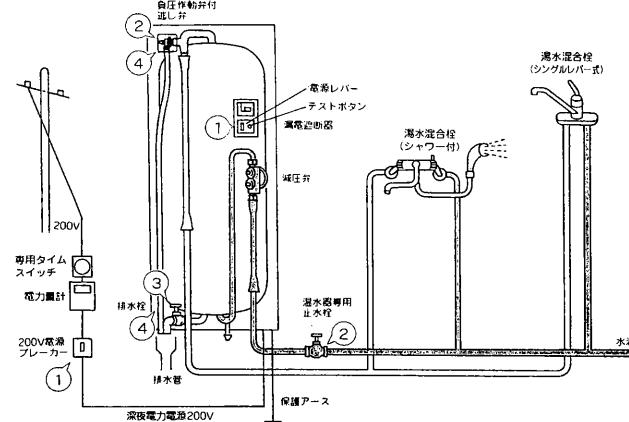
以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客様相談窓口」へご相談ください。

長期間使用しないときは

1カ月以上のとき(電源を切りタンク内の水抜きをします。)

長期間使用しないとタンク内の水が変質しますのでタンク内の水抜きをします。

※水抜きは、お湯をするムダを少なくするため、お風呂などに給湯するなど、多量のお湯を使用した後に行います。



- ①深夜電力の200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
 - ②温水器専用止水栓を開じてから、逃し弁のレバーを上げます。
 - ③排水栓を開きます。排水時間の目安は約40～50分です。(熱いお湯が出る場合がありますので、やけどの注意してください。)
 - ④排水が終わりましたら逃し弁のレバーを下げ、排水栓を開じます。
- ★再びご使用になるときは使用前の準備と給湯手順(5ページ)に従ってください。

1カ月以内のとき(電源を切れます。)

1カ月以内でも冬季凍結の恐れのあるときは、タンクや配管を破損しますので「1カ月以上のとき」に従ってタンク内の水抜きをしてください。

- ①漏電遮断器の電源レバーを「切」にします。
- ★再びご使用になるときは必ずタンクが満水であることを確認してから、漏電遮断器の電源レバーを「入」にしてください。

形 名	SRG-3764-BL	SRG-4664-BL
設 置 場 所	屋内外兼用	
タンク容量	0.37m ³ (370L)	0.46m ³ (460L)
定 発 热 体	単相200V 4.4kW	単相200V 5.4kW
格 制 御 用	単相200V 約3W	
沸き上げ湯温	約55℃～約90℃	
本 体 尺 法	高さ1750mm 幅650mm 奥行690mm	高さ2090mm 幅650mm 奥行690mm
質 量	本 体	64kg
	満水時	434kg
安 全 装 置	漏電遮断器・温度過昇防止器・保護アース	
温 度 検 知	サーミスター	
発 热 体	シーズヒーター	
操 作	湯温設定スイッチ(自動節約・低・高) 漏電遮断器(電源レバー・テストボタン)	
	表 示	
	沸き上げ中ランプ	

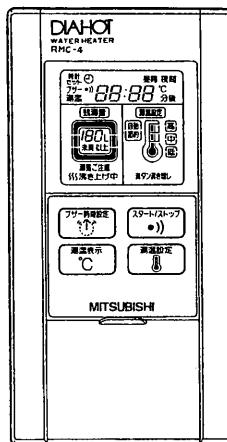
別売リモコン(RMC-4)について

この製品はリモコン(RMC-4)を接続すると次の操作ができます。

- 湯温設定を「高」(約90℃)、「中」(約75℃)、「低」(約55℃)の3段階と「自動節約」(約70℃～約90℃)に切り替えられます。
- タンク内の湯温や残湯量を確認できます。
- 設定時間の経過をブザーで知らせることができますのでお湯張り時に便利です。

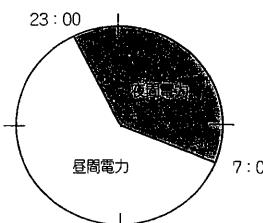
さらに電力契約を「時間帯別電灯」にすれば昼間の沸き増しができます。

- お湯がたくさん必要なときは「満タン沸き増し」を設定すると、その日は昼間に連続して沸き増しを行います。
 - 「満タン沸き増し」を設定すると昼間時間帯に通電され料金が割高になりますので必要に応じて使用してください。
 - リモコンを取り付けるときは別売のリモコンケーブルを取り付け工事費が必要です。
- ※時間帯別料金制度の詳細については、お近くの電力会社にお問い合わせください。



大きさ 幅96×奥行23×高さ198(mm)
価 格 20,000円(税別)

「時間帯別電灯」料金制度



1日中、200V電源が供給されます。
家庭で使用するすべての電力を、昼間電力(7:00～23:00)と夜間電力(23:00～7:00)に分けて計算します。一般的の電灯料金にくらべ昼間電力は若干高くなりますが、夜間電力が大幅に割引されます。

※時間帯別電灯料金制度の詳細については、お近くの電力会社にお問い合わせください。

保証とアフターサービス

修理サービス

- ・製品の具合が悪いときは14ページの「故障かなと思ったら」をお読みになって今一度チェックしてください。
- それでも具合の悪いときは据付け工事店またはお近くの「三菱電機お客様相談窓口」へご相談ください。

保証期間中の修理

- ・保証期間中の修理については、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、据付け工事店が修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

- ・保証期間経過後の修理については据付け工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理をいたします。

ご連絡いただきたい内容

品 名	電気温水器
形 名	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前、電話番号、訪問希望日	

ご不明な点に関するご相談は

- ・据付け工事店かお近くの「三菱電機お客様相談窓口」にご相談ください。

	★長年ご使用の電気温水器の点検を	●この電気温水器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。
	こんな症状はありませんか	・設置場所が濡れている。 ・お湯の出が悪い。 ・お湯が早くなくなる。 ・時々漏電遮断器がはたらく。 ・その他の異常、故障がある。
	ご使用中止	故障や事故防止のため、200V電源ブレーカーを切り温水器専用止水栓を閉じてから据付け工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。

形 名	年	月	日
ご購入(据付け)年月日			
据付け工事店(販売店)名	TEL		

お客様へ……おぼえのため、形名、ご購入年月日、据付け工事店名(販売店)を記入されると便利です。